

## 新たな感染防止対策の強化・徹底

### 1. ウイルスを持ち込ませない

#### 職員

- 1) 健康管理：人込みや繁華街への外出を控える（外出時にはマスク着用）
- 2) 健康チェック：症状があれば休む
- 3) 手洗い・手指消毒、手袋着用、マスク着用

#### 利用者

- 1) 利用前  
健康チェックシートの記載を依頼  
体温（朝・夕）、症状の有無、受診の有無、処方追加や変更（特に解熱剤）、家族の体調
- 2) お迎え時  
マスク着用、手指消毒、健康チェックシートの確認、体温測定（1回目）
- 3) 利用基準  
利用前々日と利用前日の2日間、本人および家族に37.0℃以上の発熱や症状がないこと
- 4) 来所時  
手指消毒、体温測定（2回目）
- 5) 来所後  
利用基準を満たさなかった場合は、個室で待機してもらい、速やかに帰宅していただく

### 2. 感染を拡げない [2) 3) 再開後の、当面の期間様子を見ながら修正していく]

- 1) 密閉しない：換気は2時間に1回10分間行う
- 2) 密集しない：同一時間帯の最大利用者を16名とする
- 3) 密接しない：席の配置は4人テーブルの片側に2人ずつとし、同一方向に向かつて座る  
リハビリ室の待機椅子の間隔をあける、利用者同士は直接触れ合わない  
食事時と入浴時以外はマスク着用  
嚙下体操時に発声しない、近距離での会話しない  
発声したり、輪になって集まるようなレクリエーションは行わない
- 4) 予防策の徹底  
手洗い・手指消毒（1ケア毎）、手袋着用（1ケア毎）、マスク着用  
スタッフ各自で手指消毒剤を携帯用ボトルで所持、フロア内の手すりに手指消毒剤を設置  
壁掛けペーパータオルホルダーを多数設置  
状況に応じて、使い捨てエプロン（1ケア毎）とアイゴーグル（又はフェイスシールド）を着用
- 5) 消毒  
共用部分（手すり、ドアノブ等の高頻度接触表面）は1日3回消毒（始業前、昼休み、終業後）  
リハビリ器具およびリハビリ関連用品（1人のリハビリ毎）
- 6) 利用者の手洗い・手指消毒  
お迎え時、来所時、排泄後、リハビリ前後、食事前後、退所時、その他必要時